自然環境　みぢかな自然をもっと知ろう！！

◉みどり・ミドリ・緑

神奈川は海、平野、丘陵、山岳等に加え、相模川や酒匂川などの河川や、芦ノ湖などの湖沼といった変化に富んだ地形を有し、多様な自然環境に恵まれています。県西部には箱根や丹沢大山などの多様な表情を持つ豊かなみどりが残っています。

しかし、県東部では、身近な里山などの雑木林を中心にみどりの量の減少や質の低下が著しく、中部地域でもその傾向が見られ、みどりの創造と保全が急務となっています。

県では、丹沢大山の自然環境や都市のみどりを保全したり、都市公園を整備するなどみどりの創造と保全に取り組んでいます。

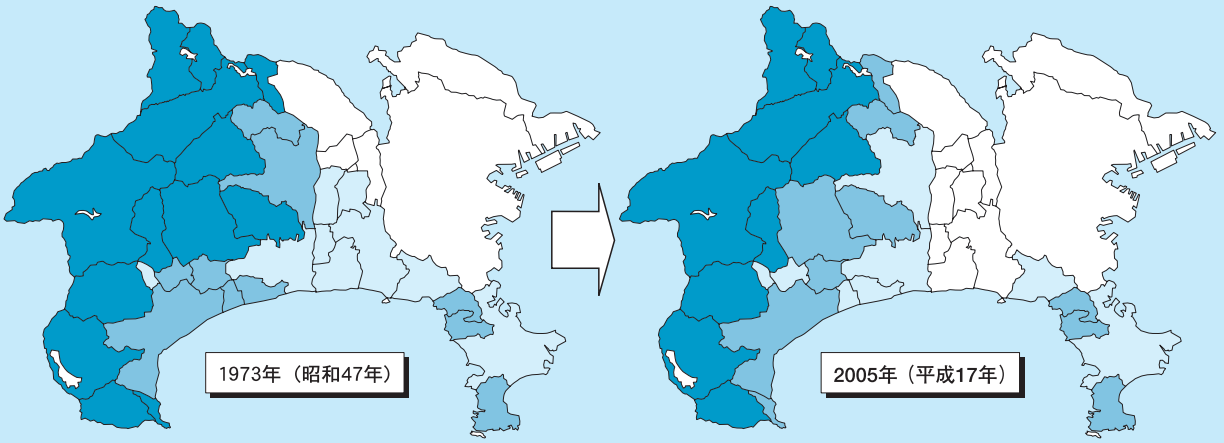
◉守らなければならないもの…

丹沢には、国の特別天然記念物のニホンカモシカや天然記念物に指定されているヤマネなど保護すべき動物たちがいます。

ヤマネは夜行性であまり見ることができませんが、最近丹沢に広く分布していることが分かってきました。しかし、森林に依存しているので、伐採や開発工事などの影響を受けています。保護していくには多様な森林を維持することが必要です。

ヤマネ（写真提供：丹沢湖ビジターセンター　山口喜盛さん）
神奈川県では丹沢山地と県北部の相模湖周辺の森林に生息し、晩秋から春まで冬眠します。

■みどり（緑地率）の推移



緑地率＝（森林面積＋農地面積）／市町村面積

	70%以上
	70%未満
	50%未満
	30%未満

	県土面積（a）	農地面積（b）	森林面積（c）	緑地率（b+c）/a
昭和47年	238,728ha	31,400ha	106,672ha	57.8%
平成17年	241,584ha	21,100ha	95,278ha	48.2%

◉被害を与えるものも…

神奈川は県土が狭い割に自然環境が変化に富んでいるため、生息する鳥獣の種類も豊富で、これらの野生鳥獣は自然生態系の中でも重要な位置を占めています。

しかし、農林水産業や人の生活に被害を与えるなど、人との関係が悪化しているほか、自然生態系のバランスを崩すものもいます。

そこで、県では、特に問題化しているニホンジカとニホンザルを対象に、平成14年度に策定した保護管理計画に基づいて、対策を進めています。

●農作物を荒らす様子●

ニホンジカ
畑でナスを食べるシカ。

ニホンザル
畑でダイコンを食べるサル。

◉生まれは違うけど…

ペットとして日本に輸入された動物たちが、野生化し、農作物被害や生活被害を発生させています。

また、これら外来生物による自然生態系への影響も懸念されています。

●“可愛い”だけではない●

タイワンリス［台湾南部原産］
樹をかじるタイワンリス。
樹や家の戸袋をかじる被害も出ています。

アライグマ［北アメリカ原産］
家の屋根裏などに巣を作るアライグマ。
可愛い顔してかなりどう猛。